

各市町村の防災・減災に関する取組紹介について

取組内容 避難所受付システムの導入について

従来は紙でしていた避難所受付を、避難者の方がお手持ちのスマートフォンからすることで受付をスムーズにするもの。また、どの避難所にどのくらいの数の方が逃げてきているのか管理しやすくする狙いがあり、導入を実施。

入所

避難所受付システム 操作説明

- 2次元コードをスマホで読み込みます。
・右側にある2次元コードをスマホで読み取り、入力画面へ移動することができます。
- 「同意する」にチェックを入れます。
・登録する個人情報の種類は、避難者用管理名簿作成に使用されます。
- 住所を入力します。
・入力項目は自動で表示されます。豊中市内か豊中市外かを選択し、住所を入力します。
- 世帯主の電話番号を入力します。
・全席・半席・一部借席・共同生活棟・雑居棟・全席・半席が選択されます。詳細は、各借席に記入します。
・世帯主の電話番号を入力します。
- 避難者の個人の情報を入力します。
・名前(フリガナ)を入力します。
・生年月日を入力します。
・性別(19790205、フリガナが選択可能)を選択します。
・2人目以降は、「家族を借り受けたい」と選択し、(10人まで登録可能)
- 避難者の個人の情報を入力します。
・名前フリガナを入力します。
・生年月日を入力します。
・性別(19790205、フリガナが選択可能)を選択します。
・2人目以降は、「家族を借り受けたい」と選択し、(10人まで登録可能)

06

避難者の個人の情報を入力します。

- ・要支援・要介護に該当する場合は、要支援1~要介護5を選択します。
- ・精神手帳、児童手帳、身体障害者手帳をお持ちの方はそれぞれ選択します。
- ・障害種別には、障害の程度などを詳しく記入します。
- ・その他には、避難所での配慮事項などを記入します。

07

避難者情報の公開の可否を選択します。

- ・親族や友人が訪ねてきた場合に、情報を公開しても良い場合は「同意する」を、公開をしない場合は、「同意しない」を選択してください。
- ・最後に、「入力内容を確認する」を押してください。

登録画面で確認後、変更がなければ、「登録する」を押下します。変更がある場合は、「編集に戻る」を押下します。

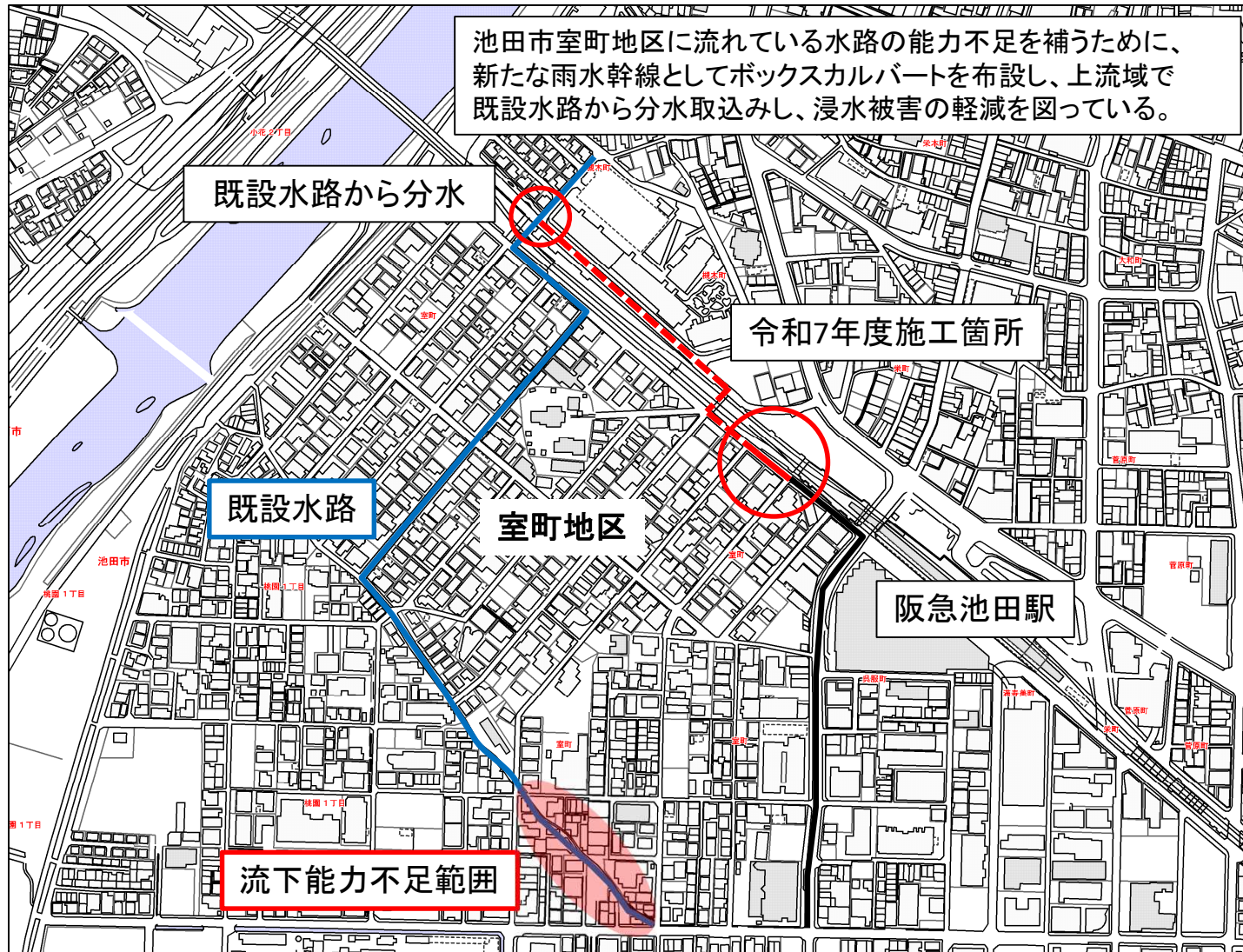
退所

- 2次元コードをスマホで読み込みます。
・右側にある2次元コードをスマホで読み取り、入力画面へ移動することができます。
- 世帯主の電話番号を入力します。
・住所日時は、自動で表示されます。電話番号は、個人の電話番号ではなく「借居主」の電話番号を必ず入力してください。
- 避難者の個人の情報を入力します。
・名前フリガナを入力します。
・生年月日を入力します。
・性別(19790205、フリガナが選択可能)を選択します。
・2人目以降は、「家族を借り受けたい」と選択し、(10人まで登録可能)

- ### メリット
- ・紙での管理ではなく、データ上で管理できるので人数把握が容易になった。(各避難所からの定期報告の手間削減)
 - ・避難所に入るための受付で待機する時間が大幅に短縮された



取組内容 浸水対策の一環として、下水道事業計画（10年確率）に基づき雨水整備を実施している



令和7年度施工写真



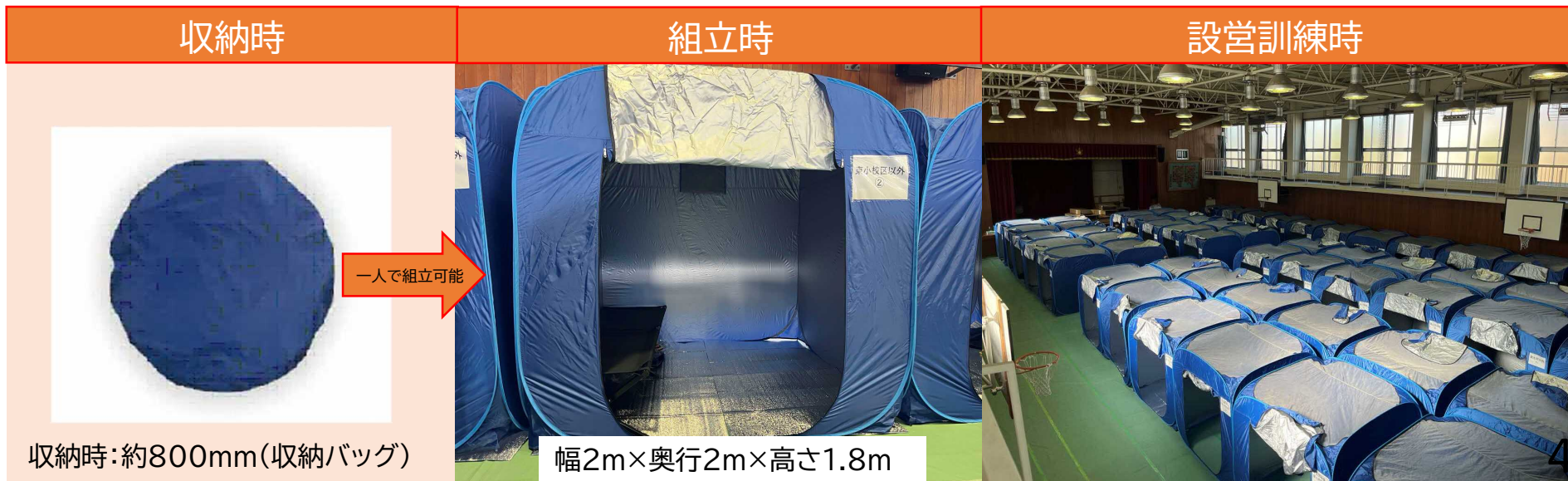
取組内容 テント型パーティションを新たに購入・配備

●購入・配備

箕面市では今年度「新しい地方経済生活環境創生交付金」を活用し、被災者が避難所に避難した時から、プライバシーに配慮したパーティションの中で避難生活を送ってもらえる「日本一快適な避難所」を目指し、避難所用テント型パーティションを5213張購入しました。購入したパーティションは箕面市内14ヶ所の最初に開設する避難所に配備されました。

●テント型パーティション

パーティションは一人で組立、撤収でき、使用時にはコットベッド2台を設置することが出来るなどスペースが確保されている他、出入口や天井が開閉可能なため、調光や通気性も個別に調整することが可能です。今年度の全市一斉防災訓練では、各避難所でパーティションの設営訓練が行われ、設営したパーティションを体験された方は、「本当に快適な個室空間でした」との感想をおっしゃっておられました。



取組内容 応急救護及び電気に関する知識の向上

自治会・自主防災組織等を対象にVR映像視聴、避難所受付・運営に関する訓練及び座学等を旧東能勢中学校において実施した。

VR映像の視聴により大雨による土石流や地震・津波の景況をイメージし、応急救護訓練では、応急担架の作成や止血法、骨折箇所の処置（三角巾の使用法）の訓練を実施した。また、関西電力送配電による「配電の仕組み」や「災害時の対応」について、講話により電気に関する知識の向上を図った。

○日 時

令和7年11月22日

○場 所

豊能町立東能勢中学校

○実施内容

- ・VR映像視聴
- ・レスキュー装備品展示・応急救護（箕面消防豊能署）
- ・電気設備と停電について（関西電力送配電）
- ・避難所運営訓練

○参加者約50名



取組内容 地域防災力の強化のための取組を実施

災害時の備えとして、地域の防災力を強化することが大変重要となることから、自主防災組織の充実・拡大を目的として防災研修会を開催した。内容は本町は約100km²の町域に消防署が一箇所であることから、救急車が到着するまで20分以上の時間要する地域があるため、救急車が到着するまでの応急的対応である心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法、簡易担架の作成・搬送方法など緊急時に備えた基本的事項を受講いただいた。

【実施日】 令和8年3月14日（土）

【参加者】 12自治区より17名

